

● 行政情報の提供

- 「県政だより奈良」の全戸配布
知事による連載「遊の風」スタート(H4)



- 「県ホームページ」の7ヶ国語対応などの機能強化(H12～)



- 毎年度県予算を紹介する「絵だより」(H8～H17)や「話題100選」(H16、H17)の作成



- 県政情報コーナーを県内20箇所に設置(H9～)



- 県民ホールの整備と県政情報センターの設置・運営(H9～)



- 県庁舎屋上の開放と屋上ギャラリーなどの整備(H11)



- メールマガジン「大仏さんのつぶより情報」の発行(H13～)
登録者数約4,500人

- 「県政フラッシュ」(H4～)など奈良TVを通じた県政情報の提供
- 情報公開制度の開始と充実(H8～)
- 個人情報保護制度の推進(H12～)

16

行政経営



地域経営の政策

～住民とともに協働し、効率的で開かれた行政経営を進める～

地域の課題を解決し、効果・効率的で無駄がなく、満足できる行政サービスを提供するため、毅然とした行財政改革だけでなく、住民、NPO等との積極的な協働の推進や、時代のニーズに応じた行政運営を支える人材の育成等を進めてきました。

● 協働・参画型行政運営の推進

- 県の施策を出かけて説明する「なら県政出前トーク」を開始(H14)



5年間で約620回実施

- パブリックコメント制度の導入(H14)
- 「知事への手紙」「知事への提言」を募集(H4～)
- 意見箱「県政ポスト」(H11)及びインターネットに「県政の窓」(H12)設置



- 知事と県民の談話会「まほろば県政談話会」、東京での談話会、知事と女性リーダーとの懇話会を開催(H4～)



85回実施

- 「なら県民電子会議室」の設置(H18)
- 県民参加型奈良県債の発行(H15～)

- 道路や河川などの維持管理におけるボランティア・サポートを推進(H15～)



一〇メモ

- 県とNPOとの協働事業提案制度の推進

H16に県が設置した「ボランティア・NPO活動推進基金」を活用して、NPOの提案を基に県とNPOが協働で事業を進める「県とNPOとの協働事業提案」をこれまで

12事業実施してきました。

さらに、H19事業として4事業採択しました。

〈主な事業例〉

- ◇ 三輪地域の景観保全活動
- ◇ 協働フォーラムの開催
- ◇ 特別支援教育ボランティア養成
- ◇ プログラム作成などによる高校生インターンシップのサポート